

D e s i g n

～ 距離を保ちましょう～



発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

地域包括ケア病棟広報誌Design号外58号です。木津川市ケアマネ会主催の研修会参加報告と臨床心理士のコラムを掲載しています。（地域医療連携室 室長 南出 弦）

木津川市ケアマネ会主催の研修会に参加して

～ コロナ禍での退院前カンファレンスのあり方を模索する ～



患者さんが退院されるにあたって、これまでは退院前カンファレンスを実施し、情報の共有を図り、ADLの確認や環境整備、サービス調整などの準備を行っていました。しかし、コロナ禍では対面でのカンファレンスを実施することができず、私たちは地域の皆さんに書面での情報提供のみとなっていました。地域のケアマネジャーの皆さんも、病院に足を運び、患者さんと実際に会ってADLなどを確認することができないまま、在宅への受け入れ準備をしなければならないことに不安があるのではないかと思います。そして、何よりも患者さん自身やご家族が退院後の生活に不安を抱えておられるのではないのでしょうか。

*

今回、コロナ禍での退院前カンファレンスのあり方を模索することを目的として、木津川市ケアマネ会主催の研修会が開催されました。私は、研修会の中の『模擬オンライン退院前カンファレンス』に演者として、吉崎看護師長（地域包括ケア病棟“彩り”）と中野ソーシャルワーカーと共に参加しました。『模擬オンライン退院前カンファレンス』の中で私は、事前に撮影した患者さんの歩行状況やポータブルトイレへの移乗動作、食形態やトロミの程度などを、ZOOMで動画を共有しながら、口頭で現状をお伝えしました。画面では、患者さん（役）やご家族（役）の表情も伺え、従来の対面でのカンファレンスとほぼ同様のものでした。ZOOMの操作が不慣れな点はありましたが、この研修会に参加しておられたケアマネジャーからは、「紙面での情報提供より動画があるとわかりやすい」と声を頂きました。

*

今後、オンラインカンファレンスを実施するに際し、主催者（病院又は在宅側）や事前準備（動画撮影など）の手間、患者さんやご家族の参加の仕方など、様々な課題はありますが、地域を支える病院として、オンラインカンファレンスの実施を検討していく必要があると思いました。

（リハビリテーション科 副課長 理学療法士 橋詰 あや）

臨床心理士より

～ 衣食足りて（悲しみを知る）～

私たちは生きているうえで、何かを失う経験を繰り返してゆく。

若い頃は、受験や就職の失敗、失恋など。

年をとれば、家族や友達との死別・健康な体・住み慣れた我が家・記憶など。

振り返れば、みなさんも失った経験について思い当たることがずいぶんとあり、

そうした事を乗り越えたり、あるいは乗り越えられなかったりしながらここまでやって来られたのではないだろうか。

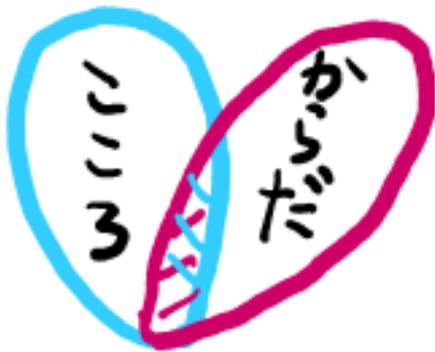
こうした「大切な何か」を失うことを、喪失体験（対象喪失）という。

たとえば、うつ病のきっかけが、何らかの喪失体験であることは良く知られている。

精神科医の小此木啓吾さんは、「衣食足りて悲しみを知る」と述べている。

これは、人が「悲しい」と感じられる前に、茫然自失としていたり、目の前の衣食住を回復することに一生懸命になる段階がある、ということである。

人は、あまりにもつらい目に遭ったとき、ある程度の余裕が身体にも環境にもできないと、ちゃんと悲しむことは出来ないものだ。



ある人が周りから見て悲しむべき状況でもそう見えなかったり、無感情であったり空元気や落ち着かない時、その人は「まだ衣食が足りていない（喪失体験の只中にいる）かも知れない」と思うと、時機を待ちながらこちらも心穏やかに話せるものだ。そして時を経て、何かを失った人がしんみりできるようになると、この人はようやく悲しむことが出来るようになったと感じる（もちろん心配ではあるが）。

そういう時、人はハラハラと泣かれるようだ（メソメソではない）。その人にとって、何かが終わったのである。子供でも老人でも障害でも、もっと言えば病気の治癒に関わらず、何かを乗り越えた姿は尊い。

「かなしい」（哀しい・愛しい）は、怒りよりも高級な感情である。

感染症流行下の時間はあっという間のようにもあり、何歳も年を取ったようでもある。

誰もが大切な何かを失う経験をしつつしているのだが、なかなか悲しむ余裕はない。まだまだ衣食は足りていない。毎日一生懸命であったり、それなりに折り合いをつけて過ごしたり、周りが敵に見えたりボンヤリしたりと、自分の置かれた場所によって感じ方は様々であろう。今はどのような気持ちがあってもそれで良いので、自分を粗末にせず、衣食と身体の回復に努めていただきたい。

（臨床心理士 谷川 誠司）